

変更となった主な内容

1. 基準地震動の追加設定

発電所敷地周辺の活断層等を考慮し、Ss-1(600ガル)、Ss-2(586ガル)、Ss-3(489ガル)を設定しているが、「震源を特定せず策定する地震動」の新たな知見(2004年北海道留萌支庁南部地震)として、Ss-4(585ガル)を追加設定した。

2. 検討竜巻の変更

評価対象地域(北海道～本州の日本海側)において観測された、過去最大竜巻である風速69m/sを設定竜巻としているが、先行電力の審査状況を踏まえ、施設の安全性の確認にあたっては、設計竜巻を上回る風速100m/sに耐えられるよう対策を実施することとした。

3. 免震重要棟への遮へい壁設置

先行電力の審査状況を踏まえ、当社においても、地表に降下した放射性物質からの被ばく低減の観点から、免震重要棟の周囲に遮へい壁を設置することとした。

4. ヨウ素フィルタの設置

当社の審査会合において、原子力規制委員会からフィルタ付VENT設備にヨウ素フィルタの設置を検討するようコメントを受けたことに伴い、**有機ヨウ素の除去効率が98%のヨウ素フィルタを設置**することでフィルタ付VENT設備の設計を変更した。

